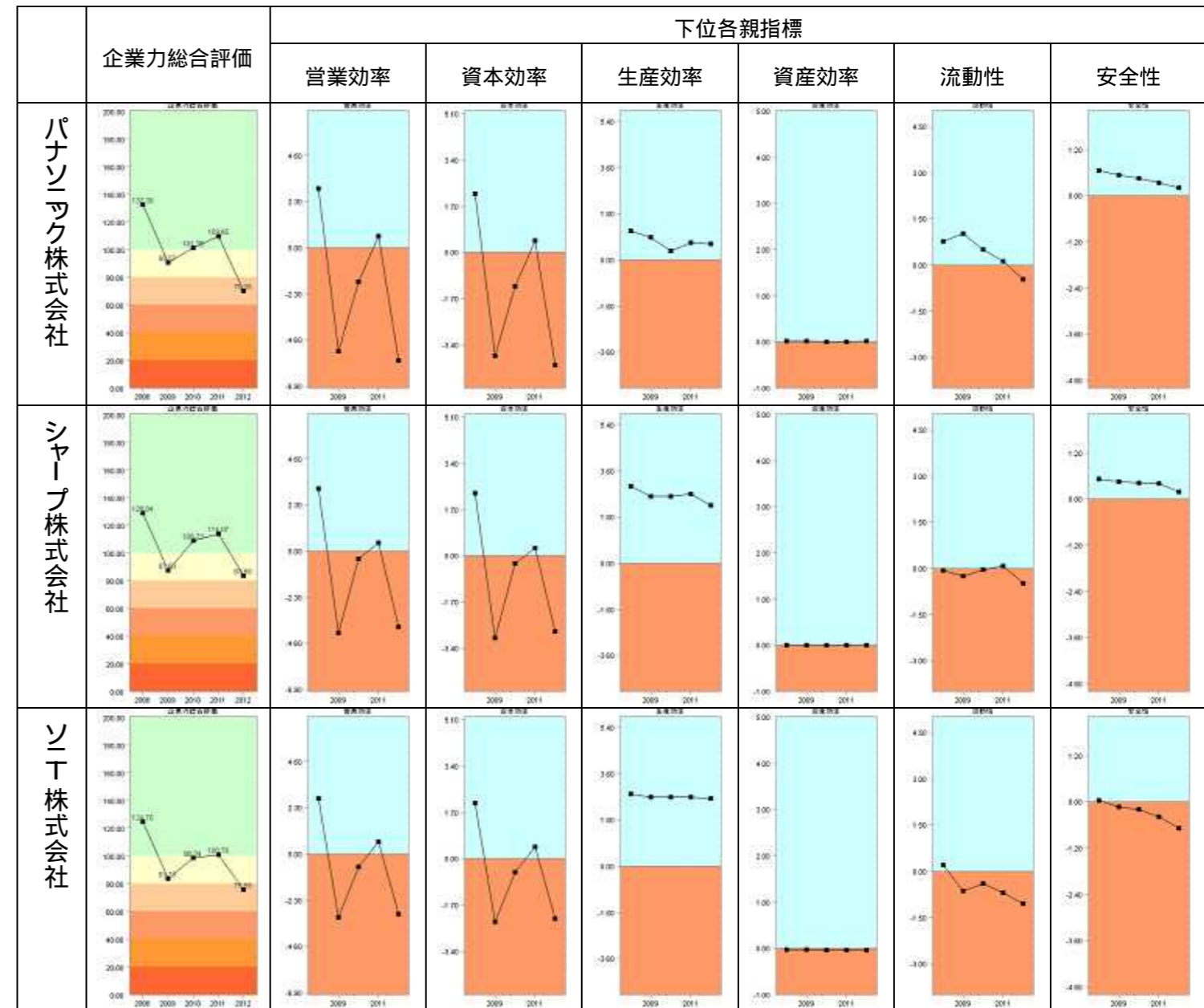
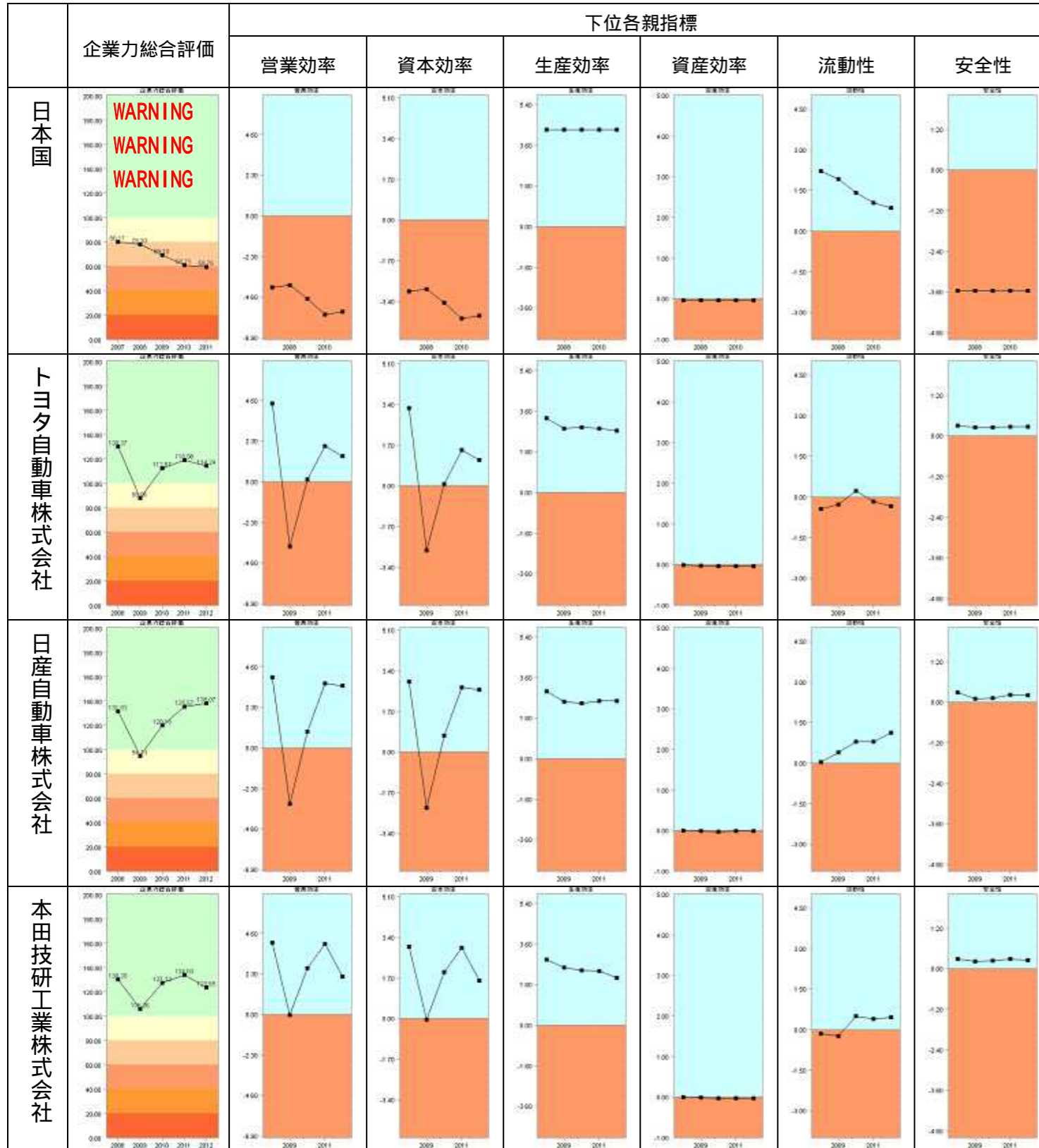


今回は日本国の現状を総覧してみましょ。財政破綻が懸念される日本国と基幹産業である自動車産業、家電産業を見渡せば、日本国の現状が把握できるのではないでしょか。



日本国は 2011 年 3 月期までの日本国の決算書を分析しています。(他社は 2012 年 3 月期までの決算書) 80.17 78.10 69.10 60.71 59.76 と推移しています。60 ポイント以下で破綻懸念ですので、定量的には日本国は破綻懸念状態であると言えます。なお且つ **WARNING** が 3 つついています。

よく、日本の国債は日本国内で持っているから、破綻しないというご意見を耳にされることもあるかと思ひます。それは破綻を阻む定性的要因が存在するという意味です。

営業効率を見ましょ。自動車産業は赤信号領域に入っても 1 期、家電産業は 2~3 期ですから、自動車産業の方が元気であることが分ります。リーマンショック前の自動車産業は、たとえばトヨタ自動車(株)や日産自動車(株)であれば 130 ポイント前後で安定していましたので、リーマンショック後、回復したといえども病みあがりてまだ安定しない様が見取れます。家電産業は 2012 年再度失速、まるで三つ子です。

まとめ

日本国、基幹産業は総じて厳しい状況です。貴方は何を思ひましたか。

編集後記 エコカー補助金や家電エコポイントで助けてもらった企業、次世代につけを回す形で負担した国。他の事象があったと言えればそれまでですが・・・「今時の大人は」って言われちゃいそう。(-_-)/~~~ピーシー!ピーシー! **文責 JY**

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-19 プロパレス安土町ビル 7 階 D 号 株式会社 SPLENDID21

tel 06 - 6264-4626 info@sp-21.com 過去の NEWS、セミナー情報は <http://sp-21.com>